

2019年度事業の結果

■総事業高は936億6,245万円、
経常剰余金は29億67万円となりました。

	実績	予算比	前年比
供給高	899億5,640万円	98.0%	100.5%
宅配事業	578億6,070万円	99.2%	101.0%
店舗事業	228億5,058万円	99.9%	99.3%
サービス事業	35億9,373万円	94.1%	100.3%
エネルギー・通信事業	43億5,121万円	79.7%	100.4%
夕食宅配事業	13億16万円	99.2%	103.2%
福祉事業収入	14億1,742万円	99.0%	104.1%
その他事業収入	22億8,863万円	100.4%	104.1%
保障事業収入合計	8億9,819万円	103.2%	104.3%
個配手数料収入	3億7,251万円	99.3%	104.0%
不動産賃貸収入	2億8,470万円	100.2%	100.3%
太陽光発電収入	5億3,190万円	97.8%	103.7%
エネルギー・通信事業	4,279万円	71.3%	120.7%
サービス事業等	1億5,850万円	107.8%	107.5%
総事業高	936億6,245万円	98.1%	100.6%
経常剰余金	29億67万円	80.3%	77.3%

2019年度 経営結果

経常剰余金	29億67万円
特別利益	2億7,862万円
特別損失	2,670万円
税引前当期剰余金	31億5,259万円
法人税等	7億5,500万円
法人税等調整額	4,008万円
当期剰余金	23億5,751万円
当期首繰越剰余金	12億7,465万円
当期末処分剰余金	36億3,217万円

2020年度事業計画

■総事業高は965億円、
経常剰余金は31億円をめざします。

	計画	前年比
供給高	927億1,832万円	103.1%
宅配事業	600億円	103.7%
店舗事業	233億円	102.0%
サービス事業	35億1,987万円	97.9%
エネルギー・通信事業	45億5,645万円	104.7%
夕食宅配事業	13億4,200万円	103.2%
福祉事業収入	14億3,800万円	101.5%
その他事業収入	23億4,368万円	102.4%
保障事業収入合計	9億円	100.2%
個配手数料収入	4億5,200万円	121.3%
不動産賃貸収入	2億8,400万円	99.8%
太陽光発電収入	5億3,700万円	101.0%
エネルギー・通信事業	4,700万円	109.8%
サービス事業等	1億2,368万円	78.0%
総事業高	965億円	103.0%
経常剰余金	31億円	106.9%

■剰余金処分計算書

2019年度 当期末処分剰余金は、36億3,217万円となりました。

法定準備金	生協法の定めにより、1億7,239万円を積み立てます。
利用分量割戻金 (供給事業)	3億7,930万円が利用分量割戻しとなります。 ・宅配事業、カタログ通販事業については、 年間利用高(税抜)の0.6%とします。 ・店舗事業については、年間利用高(税抜)の0.1% とします。 ※但し、対象外となるご利用サービスがあります。
出資配当金	5,842万円が出資配当金となります。期中平均出資 口数金額の0.4%(税引後0.31832%)とします。
任意積立金	①台風や集中豪雨など自然災害等における経営 リスクに備えて、3億円を積み立てます。 ②大規模な施設修繕に備えるため、 4億円を積み立てます。 ③戦略的な事業投資に備えるために、 8億円を積み立てます。
①災害等損失積立金 ②資産保全積立金 ③事業施設開設積立金	
次期繰越剰余金	15億7,619万円を次期に繰り越します。 生協法に定められた、教育事業等繰越金2億円を 含んでいます。

※詳しくは、宅配登録組合員の方には7月1回配送時、それ以外の方へは同時期に郵送で
お届けする「剰余金処分のお知らせ」で通知させていただきます。

第46回通常総代会議案書をご希望の方は、
こちらからお申し込みください。

●WEBからのお申し込み

右の2次元コードから、
申し込みができます。




●電話でのお申し込み

組合員サービスセンター
TEL 0120-031-001



機関誌 いずみ 号外

発行：  くらしに笑顔お届けします
大阪いずみ市民生活協同組合
〒590-0075
堺市堺区南花田口町 2-2-15
☎0120-031-001
2020年6月



第46回通常総代会を 開催しました。

6月9日(火)、第46回通常総代会が開催され、519人中518人の総代が出席しました。総代会では、7つの議案が提案・討議され、採択の結果、すべての議案が賛成多数で可決されました。

今回の総代会は、新型コロナウイルス禍の中、感染拡大防止に留意し、「書面議決書による出席」を中心に規模を縮小して議事運営を行いました。

理事長のあいさつ



新型コロナウイルス感染症で、対応いただいているみなさまに、心からの敬意を表します。また、急増する需要にご協力いただいたお取引先様、奮闘いただいている社員、職員のみなさまにも感謝申し上げます。

全国で家庭内需要が増大し、お届けできない商品が多数発生しました。いたらない点もありましたが、限りある商品を全国生協で分け合い、今できることの精一杯の対応はできたと思います。

生協は、多くの人々の、ふだんのくらしを支える社会的なインフラでもあります。今後もコロナ禍の影響は続きますが、引き続き、組合員のくらしを支え続けられるよう、日本生協連、コープきんきとともに最大限の努力を行ってまいります。

理事長 勝山 暢夫

議案採決結果

議案番号	議案内容	賛成	保留	反対
第1号議案	2019年度 活動報告・決算報告・剰余金処分案承認の件	多数	5	0
第2号議案	2020年度 活動方針・事業計画・予算および役員報酬決定の件	多数	8	3
第3号議案	2030年ビジョン決定の件	多数	3	1
第4号議案	定款の一部変更の件	2/3以上の多数	3	0
第5号議案	役員選任規約の一部変更の件	多数	4	0
第6号議案	組合員除名の件	2/3以上の多数	3	2
第7号議案	議案決議効力発生 of 件	多数	4	0

2019年度取り組んだこと

■宅配事業

・「natural plein」を発刊しました。



■店舗事業

・7店舗でセミセルフレジを導入しました。
・レジ袋の無料配布を中止しました。



■エネルギー・通信事業

・CO₂排出係数ゼロの「ゼロでんき」の受付を開始しました。



■福祉事業

・コープの訪問看護ステーションを開設しました。

■保障事業

・「コープの保障・共済ショップ」をコープ泉佐野店に開設しました。



■つながりのあるまちづくり

・9店舗でフードドライブを実施しました。
・たべる*たいせつミュージアムの来場者が、のべ10万人を超えました。



2020年度取り組むこと

■商品

・コープ商品や産直商品の良さを広めます。
・エシカル商品の普及をすすめます。



■宅配事業

・eフレンドの機能改善をすすめます。
・保冷カバーの活用を広げます。



■店舗事業

・キャッシュレス対応や電子マネー導入をすすめます。

■保障事業

・「コープの保障・共済ショップ」をさらに増やします。



■つながりのあるまちづくり

・大阪府民カレッジと協したとりくみをすすめます。
・組合員や地域の誰もが交流できる居場所づくりをすすめます。



2030年ビジョン決定



組合員・職員ワークショップのようす

ビジョン実現のための5つの行動

- ①事業を通じたお役立ち
- ②まちづくりへの参加
- ③SDGsの達成に向けた行動
- ④参加の広がりや充実
- ⑤民主的運営と健全経営



64件の「議案へのご意見」が寄せられました。



答弁より

専務理事 久保 幸雄

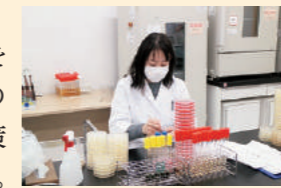
■新型コロナウイルスによる事業への影響について

宅配・店舗の利用者が急激に増加し、とりわけ宅配では、メーカーの生産体制や物流の能力を超え、数量限定による抽選やお届けできない商品が発生しました。お届けできない商品が多く発生したこと、情報が十分に行き届かず、組合員のみなさんにご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。携帯電話へのショートメッセージによるお知らせも行いましたが、携帯電話番号の登録は、まだ、宅配登録者の4割程度です。引き続き、必要な時に必要な情報をお届けできるように改善をすすめます。



■食の安全について

いずみ市民生協は「安全をお届けするために最大限の努力を行うこと」を商品政策の基本方針に掲げています。「食品安全プログラム」では、取引開始から製造までの管理、物流センターから配送センターやお店での商品の管理、わかりやすい表示や情報公開、商品事故が発生した場合の調査や危機管理など総合的な食の安全確保を行っています。食の安全に関する情報提供は、今後も、機関誌やホームページ、学習会等で積極的に行います。



■2030年ビジョンへの期待や、その実現について

2030年に生協がどうありたいかをまとめたものが

2030年ビジョンです。一人ひとりの組合員や地域の方に、生涯のできるだけ長い期間を、身近な存在として関わりたい。生協が単独でできないことも、行政や諸団体、企業とも連携して取り組み、くらしの一助となりたい。そんな思いで職員や組合員のみなさんと議論しながら作り上げました。

このビジョンの実現に向け、3か年ごとの中期計画を策定します。中期計画ごとに課題修正を図りながら、ありたい姿の実現に努めてまいります。

■コロナ禍における、組合員活動について

組合員参加の活動や会議は、3月より全面的に中止せざるを得ない状況となっています。今後の活動のあり方や再開時期などは、国や府の自粛呼びかけや、感染拡大防止への対応要請をふまえ、組合員活動委員会で議論を予定しています。



■プラスチックゴミや

地球温暖化の問題について

リサイクルやマイバック運動は、組合員のみなさんとともに取り組むことで大きな力になる活動です。ぜひ、組合員同士のコミュニケーションの力で、より多くの人にこの取り組みに参加いただけるようお声を願います。



■コロナ禍を機に、利用を開始された組合員の利用定着について

「くらしに役立つ食生活の提案を」「商品や宅配の改善要望」「お買い物サポートやサービスの充実」「支払手段のキャッシュレス化」など、みなさんからいただいたご要望やご意見をしっかりと受け止め、より利用しやすい宅配・店舗にむけて、ひとつひとつ見直しをすすめていくことが、利用定着につながると考えます。



役職員一丸となって、今後も邁進していくことをお約束し、答弁とさせていただきます。